

令和4年度事業報告書

[1] 理事会に関する事項

令和4年度の理事会開催状況は下表のとおり。

区 分	開催年月日	議 事 の 概 要
第1回 理事会	令和4年 6月6日	1 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について 2 就業規則及び個人情報保護規程の一部改正(案)について 3 評議員会の招集について
(第2回) 理事会	令和4年 6月23日	1 代表理事(理事長)の選定について (※ 書面による決議)
(第3回) 理事会	令和5年 2月27日	1 評議員会の招集について (※ 書面による決議)
第4回 理事会	令和5年 3月27日	1 理事長専決処分(令和4年度予算の補正等)の承認について 2 事務局長の選任について 3 組織規程、就業規則等の一部改正(案)について 4 令和5年度資金運用計画(案)について 5 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

[2] 評議員会に関する事項

令和4年度の評議員会開催状況は下表のとおり。

区 分	開催年月日	議 事 の 概 要
第1回 評議員会	令和4年 6月23日	1 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について 2 (任期満了に伴う)理事の選任について
第2回 評議員会	令和5年 3月28日	1 評議員の補欠選任について 2 理事の補欠選任について 3 監事の補欠選任について

[3] 許認可・登記に関する事項

令和4年度の登記に関する事項は下表のとおり。

件名	申請先	許認可登記年月日	同番号	備考
評議員及び役員の変更登記	新潟地方 法務局	令和4年4月25日	—	評議員 2名辞任、2名就任 理事 1名辞任、1名就任
		令和4年7月26日	—	理事 2名(内、代表理事1名) 重任 理事 4名就任 (※ 理事の任期満了に伴うもの)

[4] 役職員に関する事項

1 役員に関する事項

		令和4年3月31日現在	令和5年3月31日現在
評議員		6	6
理事	理事長	1	1
	理事	5	5
	計	6	6
監事		2	2

2 職員に関する事項

区分	令和4年3月31日現在							令和5年3月31日現在							備考
	事務	技術			非常勤		計	事務	技術			非常勤		計	
		化学	電気	機械	事務	器具洗淨			化学	電気	機械	事務	器具洗淨		
総務課	6(注)	—	—	—	1	—	7	6(注)	—	—	—	1	—	7	事務局長を含む。
業務課	—	3	1	3(注)	1	1	9	—	3	1	3	1	1	9	
新津支所	—	1	1	1	1	1	5	—	1	1	1	1	1	5	
新井郷川支所	—	1	1	1	1	1	5	—	1	1	1	1	1	5	
西川支所	—	1	1	1	1	1	5	—	1	1	1	1	1	5	
長岡支所	—	3	1	1	2	1	8	—	3	1	1	2	1	8	
六日町支所	—	1	1	1	1	1	5	—	1	1	1(注)	1	1	4	
堀之内支所	—	1	1	1	1	1	6	—	1	1	1	1	1	5	
計	6	11	7	9	9	7	49	6	11	7	9	9	7	49	

(注1) 「総務課 事務」6人は、正職員4人のほか、人材派遣職員1人、産休・育休取得職員の代替職員(R4.3月から臨時的雇用職員採用)1人である。

(注2) 令和4年3月31日現在の「業務課 機械職」は事務局参事を含む。

(注3) 令和5年3月31日現在の「六日町支所 機械職」は臨時的雇用職員である。

[5] 事業に関する事項

1 流域下水道運転管理受託事業（事業費 3,547,722千円）

信濃川下流域下水道新潟、新津及び長岡処理区、阿賀野川流域下水道新井郷川処理区、西川流域下水道西川処理区、魚野川流域下水道六日町及び堀之内処理区並びに中越流泥処理センターの運転管理業務を新潟県から受託し、次のとおり行った。

(1) 運転管理受託事業の状況

令和4年度の運転管理受託事業費計（3,547,722千円、新潟県との委託契約に係る金額）は、前年度比1.1ポイント（約40百万円）の増加となった。

これは、燃料費の高騰により、光熱水費が令和3年度より約3億3,800万円増額となったものの、修繕費が前年度比約2億5,000万円減額、機械消耗品費等が約2,800万円の減額となったことなどによるもの。

（単位：千円）

処理区 区分	新潟	新津	新井郷川	西川	長岡	六日町	堀之内	中越流泥	計
令和4年度 受託事業費	731,403	497,578	595,019	494,505	445,125	268,993	267,406	247,693	3,547,722
令和3年度 受託事業費	696,684	462,887	653,287	493,973	423,995	278,327	268,494	229,777	3,507,424
前年度比 (R4/R3.%)	105.0	107.5	91.1	100.1	105.0	96.6	99.6	107.8	101.1

(2) 流入水量の状況

令和4年度の流入水量計は78,454千 m^3 であり、前年度比0.3ポイントの減となった。六日町処理区で3.0ポイントの増、一方、長岡処理区で3.4ポイントの減となったほか、他処理区ではほぼ前年度並みとなった。

（単位： m^3 ）

処理区 区分	新潟	新津	新井郷川	西川	長岡	六日町	堀之内	計
令和4年度 流入水量	23,028,019	10,531,136	13,245,408	9,002,598	14,711,007	4,286,197	3,650,502	78,454,867
(日量平均)	63,090	28,852	36,289	24,665	40,304	11,743	10,001	214,945
令和3年度 流入水量	23,031,688	10,419,755	13,325,992	8,845,016	15,221,981	4,160,587	3,712,273	78,717,292
(日量平均)	63,101	28,547	36,510	24,233	41,704	11,399	10,171	215,664
流入水量 前年度比 (R4/R3.%)	100.0	101.1	99.4	101.8	96.6	103.0	98.3	99.7

(2)-2 流入水量の状況（月別、市町村別）

（単位：m³）

年度	処理区	新 潟	新 津	新井郷川	西 川	長 岡	六日町	堀之内
	月							
令和4年度	4	1,706,877	829,867	1,051,769	715,971	1,124,708	347,087	318,015
	5	1,777,825	847,223	1,073,515	737,606	1,148,407	335,708	296,491
	6	1,868,991	821,904	1,073,356	719,516	1,101,641	315,154	282,014
	7	1,969,301	870,421	1,128,002	760,075	1,162,934	338,630	299,376
	8	2,175,810	903,193	1,152,558	764,849	1,182,981	338,759	295,872
	9	1,862,494	817,905	1,036,236	715,437	1,121,076	322,609	280,149
	10	1,932,827	869,458	1,090,013	751,576	1,188,779	323,227	281,312
	11	1,848,329	840,571	1,076,076	734,327	1,153,645	322,130	267,601
	12	2,317,050	1,088,259	1,280,938	854,109	1,631,373	407,504	349,429
	1	1,983,618	926,459	1,151,746	790,278	1,479,299	478,810	359,891
	2	1,782,678	847,390	1,043,271	707,163	1,222,857	387,339	299,141
	3	1,802,219	868,486	1,087,928	751,691	1,193,307	369,240	321,211
	計	23,028,019	10,531,136	13,245,408	9,002,598	14,711,007	4,286,197	3,650,502
	日平均	63,090	28,852	36,289	24,665	40,304	11,743	10,001
令和3年度	計	23,031,688	10,419,755	13,325,992	8,845,016	15,221,981	4,160,587	3,712,273
	日平均	63,101	28,547	36,510	24,233	41,704	11,399	10,171

(3) 流入水、放流水の水質状況

各処理区とも良好に処理が行われ、放流水は下水道法の基準値以内であった。

(流入水)
(放流水)

処理区 項目 年度	新 潟					新 津					新 井 郷 川				
	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)
令和4年度	7.2	160	100	200	5.3×10 ⁵	7.3	170	110	180	9.4×10 ⁴	7.1	220	120	230	3.5×10 ⁵
平均	7.3	2.6	13	4	<100	7.3	2.7	13	3	<100	7.3	5.1	16	5	<100
令和3年度	7.3	160	110	200	3.8×10 ⁵	7.2	170	100	170	1.5×10 ⁵	7.1	190	120	210	3.3×10 ⁵
平均	7.4	2.2	13	4	<100	7.3	3.0	13	3	<100	7.3	3.8	16	4	<100
下水道法の 基準値	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下	5.8~ 8.6	10 以下	—	40 以下	3,000 以下	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下

処理区 項目 年度	西 川					長 岡					六 日 町				
	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)
令和4年度	7.1	170	97	150	4.9×10 ⁵	7.3	210	96	190	1.5×10 ⁵	7.2	220	98	250	4.0×10 ⁵
平均	7.1	4.3	13	3	<100	7.3	4.4	12	3	<100	7.2	5.3	14	4	<100
令和3年度	7.0	160	97	150	3.1×10 ⁵	7.3	180	93	180	1.0×10 ⁵	7.3	220	94	220	8.2×10 ⁵
平均	7.1	4.2	13	3	<100	7.3	4.3	12	3	<100	7.2	5.0	12	4	<100
下水道法の 基準値	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下

処理区 項目 年度	堀 之 内				
	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)
令和4年度	7.2	150	83	160	1.8×10 ⁵
平均	7.2	3.2	12	2	<100
令和3年度	7.2	170	94	190	3.2×10 ⁵
平均	7.2	3.5	11	2	<100
下水道法の 基準値	5.8~ 8.6	15 以下	—	40 以下	3,000 以下

備考：・pH:水素イオン濃度、BOD:生物学的酸素要求量、COD:化学的酸素要求量、SS:浮遊物質
 ・下水道法の基準値とは下水道法施行令第6条及び下水道法施行規則第4条の二の基準値(令和2年3月末現在)

(4) 汚泥の処理処分状況

項目 処理区名	汚泥の種類	年度	汚泥処分量 (トン)	含水率 (%)	方法別処分量 (トン)					有効利用率 (%)
					有効利用			焼却処分	埋立処分	
					建設資材	コンポスト	その他*1			
新潟処理区	脱水ケーキ	R4	1,283	78.4	1,283	—	—	—	—	100
		R3	1,395	78.5	1,395	—	—	—	—	100
	乾燥汚泥	R4	1,479	8.7	1,360	119	—	—	—	100
		R3	1,487	7.7	1,468	19	—	—	—	100
新津処理区	脱水ケーキ	R4	4,385	78.9	4,195	190	—	—	—	100
		R3	4,926	80.8	4,725	201	—	—	—	100
新井郷川処理区	脱水ケーキ	R4	6,402	78.3	5,996	406	—	—	—	100
		R3	6,438	77.9	6,071	367	—	—	—	100
西川処理区	脱水ケーキ	R4	3,045	77.5	2,863	182	—	—	—	100
		R3	2,971	77.8	2,809	162	—	—	—	100
長岡処理区	脱水ケーキ	R4	5,871	82.1	27	14	5,830	—	—	100
		R3	5,338	82.1	—	—	5,338	—	—	100
中越流泥*3	脱水ケーキ	R4	72	81.9	63	9	—	—	—	100
		R3	0	—	—	—	—	—	—	—
	乾燥汚泥	R4	2,769	5.8	2,579	190	—	—	—	100
		R3	2,834	5.9	2,506	328	—	—	—	100
六日町処理区	脱水ケーキ	R4	1,804	80.2	1,569	235	—	—	—	100
		R3	1,983	80.3	1,795	188	—	—	—	100
堀之内処理区	脱水ケーキ	R4	957	78.0	859	98	—	—	—	100
		R3	1,169	81.2	1,074	95	—	—	—	100
処理区計	脱水ケーキ	R4	23,819	—	16,855	1,134	5,830	—	—	100*2
		R3	24,220	—	17,869	1,013	5,338	—	—	100*2
	乾燥汚泥	R4	4,248	—	3,939	309	—	—	—	100
		R3	4,321	—	3,974	347	—	—	—	100

備考：*1 長岡処理区の「その他」は中越流泥への送泥分

*2 処理区計の有効利用率は、中越流泥送泥分を除外して算出（中越流泥の乾燥汚泥として計上しているため。）

*3 中越流泥受入量（単位：トン）

	合計	(公共)	(流域)
R4	14,811.68	8,981.19	5,830.49
R3	14,734.10	9,396.17	5,337.93

内、公共下水道(各処理施設)からの汚泥量内訳

	合計	(中央浄化)	(和島)
長岡市	R4	6,814.49	140.06
	R3	7,262.18	152.72

	合計	(三条)	(栄)	(下田)
三条市	R4	1,014.11	134.57	233.47
	R3	1,004.30	120.10	234.13

加茂市	R4	1,152.59
	R3	1,129.69

2 公共下水道等運転管理受託事業（事業費 19,221千円）

新潟市「新津地区し尿受入施設」及び南魚沼市「し尿受入施設」の運転管理業務を受託した。

3 新潟県及び市町村が実施する事業への協力

(1) 流域下水道の維持管理及び施設・設備の改善等について、次のとおり県へ提案、協力を行った。

- ア 維持管理費の低減に向けた修繕や保守点検の継続的な執行見直し
- イ 新潟、新津、新井郷川、西川、六日町及び堀之内浄化センターにおける消化ガス発電設備の効率的な運用に係る提案・協力
- ウ 県の「汚水処理の広域化・共同化計画」策定にあたり、同計画検討会へのオブザーバー参加及び公社活用に向けた市町村に対する県への資料提示
- エ 西川浄化センターでの「下水資源・エネルギーを活用した植物栽培の実証実験」の運転協力
- オ 維持管理のより一層の効率化に向けた民間活力導入に関する県の検討に協力するとともに、包括的民間委託導入等管理手法・体制の更なる効率化を具体的に検討するため組織体制を見直した。
- カ 脱炭素化社会への転換に向け、県が実施する施策への協力（消化ガスの売却事業、PPA〈太陽光発電事業〉など）

(2) 市町村が実施する事業等について、次のとおり支援、協力を行った。

- ア 「し尿受入施設」の維持管理に係る関係市、県への協力
- イ 災害時の市町村支援として、令和4年8月の県北豪雨の際、関川村から県への支援要請に応じ、村の下水道終末処理場の運転管理支援のため公社職員を現地に派遣
- ウ 市町村の下水道担当職員の減少が進む中、下水道の運転管理全般に関する市町村からの相談を受け付ける「下水道よろず相談室」を9月に開設
- エ 流域関連市町村が行う特定事業場への立入指導などに同行し、技術的なアドバイスを実施

4 調査研究事業

(1) 各処理場で直面している課題等への取り組みについて

毎年度、各処理場毎に運転維持管理状況を踏まえた業務改善や維持管理経費削減等の課題を抽出し、解決に向け取り組んでいる。令和4年度は、7事業所で9項目について取り組んだ。

(2) 環境への配慮・効率的維持管理に向けた取り組みについて

- ア 下水汚泥等の活用促進検討
下水道汚泥肥料利用の拡大に向けて、流域下水道事務所が行う調査、研究、広報活動に協力した。
- イ 電力料金の縮減の取組
令和3年度の電気料については、一般競争入札による契約単価の低減によりコスト削減を図ることができたものの、社会情勢（燃料費の高騰に伴う電力単価の上昇）に伴い、当該契約先と同年度末を以て解約となった。4年度から東北電力(株)との随意契約としたが、当該契約を継続することが新たに契約するより優位な電力契約となっているため、当面、同契約を5年度も継続し、競争入札の実施は今後の社会情勢を伺いながら適切な時期に再開する。

ウ 中期目標の設定

流域下水道の環境負荷の低減や良好な水質の保全に向け、効率的で質の高い維持管理がなされているか客観的に判断・評価するため、「下水道維持管理サービス向上のためのガイドライン2007」で示された運転・維持管理状況を評価する業務指標(所謂PI・CI)を活用し、4年度から3年間の中期目標を新たに定めた。また、その結果を毎年度公表し、更なる効率的で質の高い維持管理に努めていくこととしている。

エ SDGsへの取組み

4年度の運営方針に「SDGsを意識して業務の向上に取り組む」ことを掲げ、「SDGs準備委員会」を設置し、SDGsに関する現下の社会情勢について民間企業や県内の大学へ聴き取り調査を行うとともに、県内でSDGsの理念に基づく地域づくりを促進するプラットフォーム「SDGsにいがた」に加入し情報収集等を行った。

また、SDGsへの取組を積極的に推進している長岡技術科学大学から講師を迎え、公社職員への意識付けや認識の共有を図るため、全員参加による研修会を開催した。

5 下水道啓発事業 (事業費 6,167千円)

下水道事業に対する理解と関心を深めるとともに、下水道知識の普及・啓発を図るため、次の事業を実施した。

(1) 浄化センターの施設見学の受入れ

下水道事業の理解促進に効果的な浄化センターの施設見学について、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大予防のため受入れを制限したことから、見学者数は前年度並みとなった。

令和4年度 施設見学者の状況

(単位：人)

区分 浄化センター	総 数	内 訳		
		一 般	学校関係	官公署関係
新 潟	(5) 177	(1) 4	(4) 173	(0) 0
新 津	(4) 64	(0) 0	(4) 64	(0) 0
新 井 郷 川	(3) 106	(0) 0	(1) 97	(2) 9
西 川	(7) 198	(1) 11	(3) 146	(3) 41
長 岡	(15) 359	(1) 5	(8) 314	(6) 40
六 日 町	(8) 88	(1) 15	(3) 60	(4) 13
堀 之 内	(10) 232	(3) 82	(5) 145	(2) 5
本 年 度 計	(52) 1,224	(3) 117	(28) 999	(17) 108
前 年 度 計	(44) 1,255	(2) 5	(27) 1,141	(15) 109

(注) () は団体数。なお、団体数及び見学者数には「リモート見学」分を含む。

なお、上表の内、リモート見学による実施は、長岡市日越小学校、上川西小学校及び新潟市早通南小学校の3校(269人)である。また、「出前授業」は新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため実施を控えた。

(2) 広報活動（下水道フェスタの開催）について

県民に対する積極的な情報発信の一環として、「よみがえる“みず”わくわくフェスタ」を3年ぶりに開催した。当日は、長岡浄化センターを会場に「下水道探検ツアー」や「微生物観察コーナー」等のイベントを実施し、下水道の役割や必要性・重要性について一層の理解促進を図った。

なお、地域・地元で活動する団体の演奏、演技を披露頂くなどし、1会場としては過去最高の来場者を迎えた。

ア 開催日 令和4年9月11日(日)

イ 内容 下水道探検ツアー、微生物観察、下水道教室等

ウ 来場者 約1,400人

エ その他

① 長岡浄化センターでは6回目の開催

② 共催、後援及び協賛団体等は次のとおり

・共催：新潟県

・後援：長岡市、小千谷市、新潟県下水道協会、地方共同法人日本下水道事業団関東・北陸総合事務所

・協賛：公益社団法人日本下水道管路管理業協会中部支部新潟県部会、一般社団法人新潟県下水道管路維持改築協会、下水道関係企業(プラントメーカー)各社

6 下水道研修事業（事業費 530千円）

(1) 市町村から要望の多い、下水道業務経験の浅い(新任～3年程度の)職員を対象とした下水処理場の維持管理や電気・機械設備の概要及び維持管理上の注意点等について、次のとおり技術講習会を開催した。

ア 開催日 令和4年7月1日(金)

イ 名称 下水道維持管理技術講習会

ウ 会場 新潟浄化センター及び長岡浄化センター

なお、長岡浄化センターでは新潟浄化センターでの講義をWEB中継

エ 参加者 32名

オ 内容

① 講義 下水処理場の維持管理の概要及び電気・機械設備の維持管理上の注意点

② 現場研修 電気、機械設備、水質分析

③ 水質分析 CODパックテスト（簡易検査キットを使用したCOD比色検査）及び残留塩素測定方法の説明

なお、「講義内容」について受講者にアンケートしたところ、約9割が『良かった』又は『だいたい良かった』との回答であり、また、「現場見学」についても、参加者全員が『有意義だった』又は『だいたい良かった』との回答であった。

(2) 公社職員の一層の資質向上と技術の研さんを図るため、以下の研修等に参加した。

ア 公益社団法人日本下水道協会主催研修への参加（ライブ配信）

① 下水道の有効利用セミナー（web） 3名

② DX理解セミナー（web） 5名

③ 技術セミナー(D Xの取組) (web)	5 名
④ 下水道施設維持管理積算要領(処理場・ポンプ場編) 2020年版説明会 (web)	7 名
⑤ 令和4年度協働学習会(下水道に係る法令の基礎知識) (web)	9 名
イ 新潟県土木部技術管理課主催の「土木職員研修」への参加	
① 県民参加型企画力レベルアップ	1 名
② 危機管理広報(クライシスコミュニケーション)	1 名
③ 建設ICT技術活用	1 名
④ 技術力向上 (web)	1 名
ウ 新潟県自治研修所主催の「階層別研修」への参加	
① 主事・技師研修(前・後期)	1 名
② 係長研修 (前・後期)	2 名
エ (一財)新潟県建設技術センター主催の「クリエイティブセミナー」への参加	
第3回 美しい風景を創る 土木技術者の使命 (web)	6 名
オ 公社独自及びその他の研修会等	
① 第1回SDGs講習会(講師:長岡技科大 勝身先生)	33 名
② 第2回SDGs講習会(同:同 松川先生)	13 名
③ Made in 新潟講習会 ローカルSDGs	2 名
④ 新潟処理場分水槽改築工事・導水管改築工事現場研修	6 名
⑤ 雷と雷保護技術セミナー	6 名
⑥ 流域下水道事務所主催 下水汚泥肥料活用に関する研修会	9 名
⑦ 公正取引委員会主催「入札談合の防止に向けて」	2 名

7 下水道排水設備工事責任技術者認定、登録等事業 (事業費 7,542千円)

市町村の事務の省力化及び責任技術者の技術水準の平準化を図るため、全県を統一して以下の認定試験、登録等を行った。

(1) 下水道排水設備工事責任技術者受験講習の実施(申込者数)	175 人
(2) 下水道排水設備工事責任技術者認定試験の実施(申込者数)	230 人
(3) 下水道排水設備工事責任技術者の新規登録	114 人(内、試験免除者15人)
(4) 下水道排水設備工事責任技術者更新講習の実施(申込者数)	418 人
(5) 下水道排水設備工事責任技術者の更新登録	407 人

※ (1), (2), (4)の「申込者数」は手数料納付人数